

### 海軍行賞輝く武勳

#### 石城郡関係の二勇士

第十二回海軍論功行賞は今日二日発表された今回の恩典に浴したものは支那事變に於ける十三日二月十九日から十五日一月廿日までの戦死、戦傷病死したる武勳者で石城郡関係の如く特務中尉岡部三郎氏は十四年十月十三日戦傷死

### 第二回の報債賣出

#### 前回の報債賣出の突撃か

一萬圓を射止め様とする購入者の突撃に販は第二回の報債賣出は来る十五日から七月十日まで郵便局をはじめ各銀行その他に行はれるが同一期間に第十七回貯蓄債(七四五十圓券と十五圓券)

### 集荷は産業組合で

#### 米穀統制協議會

販賣は米穀商業組合に任す。縣購、商聯を経て小賣商。縣主催の米穀統制協議會は昨十一日午前九時から平市團體事務所樓上に於て開かれた縣から經更課長及び係り屬、縣廳並に縣信兩聯合、石城郡及び平市産業組合、市町村農會關係等約六十名出席左記條件について協議午後一時散會し

支那單語. 顧客を呼ぶと云ふことを招来主顧でチアオライチアウク、價格低廉品質良なることは價廉物美でチアリエンウー、國産品を奨励すると云ふを提昌國貨でチイチアウクオホオト

### 小學兒童用のズツク

#### 平市へ千九百十四足

縣から配給されて大喜び。ゴム底地下足袋及びズツク靴の配給機構にも従来不圓滑にこれが改善を考究されてゐるが縣では同統制以來小學兒童を泣かせてゐたズツクを第一小學校へ五六二足、第二校へ

### 警防團 後援へ各五百圓づつ

#### 横山、久野兩氏と平電力で

平市警防團後援會へ寄せられ、平市特志家の寄附金は昨紙にも報じたが其の後また左記の寄附があつた。五百圓横山彰介、五百圓久野ひさ、五百圓平電力株式會社(以上)

### 送炭の約束で

#### 預り金横領

石城郡好間村の川中子字關の上白石渡及び湯本町の吹松本久次郎(三)は本年五月初め東京市某賣炭商から石炭を送る約束で現金三百八十圓とカーバイト三罐を預り前記カーバイト二罐と不足分を現金で内郷村豊國炭礦から石炭一車(八ト)を送つたが現金百七十圓を横領したほか残る一罐のカーバイトを金十圓で植田

無断で持込みました現金七十四圓を白石から杉本へ爲替をくま遣反もある

### 嵐の前の静さとは

#### 斯ん時のことか

今晩も非常に敵が悪く襲撃の企圖あるとの情報に吾々も防備をさく、忘りなく耳目の神經に全勢力を集めて居ります。嵐の前の静けさといふのは斯んな時か只風の音がするのみです、野は夢もすつかり種がのびて

### 日夜警備に討伐に

#### 永山 勝經

平市湖澤澤出身。拜啓、新緑の候に御座候處、皆様如何御消光遊ばされ候や相變らず御勇健國策隊行に御活動の御事と盛ながら同慶に存じ居り候、降て汪生儀も出征以來滿一年を迎へ幸ひに何等の障りなく日夜警備に討伐に専心致し居り候、他事ながら御休心下され度候、平平時々御伺ひ致すべき筈のところ御承知の通り至つての筆不精者の上最前線に起き臥し致し居り候身は何かと忙はしく思ひながら御遠慮に流れ失禮儀の致々御有し下され度候、先は最近の勳御御知

### 興亞の礎

#### 石城出身の勇士

中支戦線に活躍中の立花部隊の戦傷死を昨十一日原隊から發表されたが石城郡關係は左の如くである。上遠野安夫歩兵上等兵(錦町出身五月六日戦死) 夏井川護岸災害復舊入札お流れ 平土木監督所で昨十一日平市内夏井川護岸の災害復舊を指

### 渡満の旅から

#### 新妻善吉

平市近郊 驛フオームには家族並に義弟一族が出迎ひてゐた、異郷に於て久し振りの握手を交す亦一しほの感激を覚えました。驛より程遠からぬ驛弟の許に一先づ疲れを休め夕刻家族送

名に附したことは既報したが開札の結果は豫算工費七千二百圓に對して最も近い入札が九千五百圓と稱する二千三百圓の中がありお流れとなり監督所では再入札をなさず任意契約で施行し様としてゐる

### 夜講習

#### 九品寺にて

修養團では去る十日午後五時から平市九品寺に同九時半まで夜の講習會を催し白米二合と金二十圓の會費を持参する三十名、鉢巻姿の練身に團圓踊その他修養講演など豫定のコースを終つて散會した

### 初夏の旅

#### 専攻科HS生

第六信 横須賀の威風 四日朝九時三十分一行は横須賀驛に着いた、案内役の下士官だと云ふ方が態々ホーム迄出迎ひてくれた、驛前で身の廻りの手荷物は茶屋に預けて輕装に替へこれから急々軍港の見學行である、先づ驛前で一瞥した直感、なんと盛観であらう、三方緑濃い山々に抱かれた真青な海は深くそして廣い、幾つもの大きな高い建物は所狭いまで海に浮んで居る

### 娘斬起訴

#### 通譯で實地検査

平市及び内郷村の二ヶ所に於て娘斬りをなした疑が窃盜で擧げられたる石城郡赤井村西小川生れの嘯者山口忠三は平検局局平島檢察係、二本松町相澤安氏の通譯で實地検査の結果犯行を自供去る十日傷害窃盜並に住居侵入罪で起訴された

### 山と海と建物、なんと壯觀であらう、私達の心と身はこの自然の美と人工の偉大なる備へに迫力を感じたのでした、門前にきちんと立つて居た水兵さん心で會釋し乍ら綺麗に掃き清められた大庭に入るに真正面の小高い所にモダンな氣持よい建物がある、鎮守府だといふ、海軍工廠を順次に案内されたがその中に働く汗の戰士は恐らく何匹の多きに達するであらう、元氣一ぱいせつせつと立働く、こうした餘後の人々を目的の邊り見た時一線に働く勇士への感謝と共に忘るゝことの出来ない大きな印象でした、大規模な船台と出来かゝつた船とを見上げてはこれが人間の技かと驚き洋上に浮んだ幾つもの航空母艦と潜水艦に見入つては山の如く居る軍艦と思ひ合せて海國日本の強みを痛く感じさせられました。

内地人の目を驚かすものは洋車(ヤンチヨ)馬車(マーチヨ)の群でせう、驛前は内地と異り相當の廣場ですが之れに自動車、露天商人が錯綜して目まぐるしい程の雑沓を呈して居ります、自動車は當地もメーター計算の料金ですがヤンチヨ、マーチヨは大体千十圓位の料金です、比較的安いので之れを利用する人が多いです。

# 蔗業方

層物利用で造れる飴

砂糖不足の一端にもと千葉多古農試で試製

●第二は水飴の製造、

A、前記澱粉の質物及びこれから製したる澱粉で最も手軽に出来て良品を得られるのは糯米、糯粟で、甘藷及び馬鈴薯等は前者よりも製し易いけれども品質が劣つて、原料別製法は次の通りである(温度は攝氏)

B、糯米、糯粟、精白にしたるものを洗滌し一夜浸水して蒸籠で十分に蒸し原料一升に對し温湯二升を加へ六十度で熱し麥芽一、二合を加へて、よく攪拌し五乃至十時間を経て糖化する、C、玉蜀黍、粳米、玉蜀黍は小米大に碎き、粳米はよく洗滌し一夜浸水十分蒸熱し原料一升に對し六十度内外の温湯三升ほど、麥芽二三合を一、二時間おいて二回にかけて混合攪拌すると六十度で保温糖化する、D、澱粉、原料百斤に對し五十五度ぐらゐの温湯七合發芽三乃至五合を混じり火にかけて攪き廻しつゝ煮れば六十五度で糊化し、七十度からおろせば數分間で液化する(若し液化しなかつたときは更に麥芽少量を加へる)この液化汁が六十度ぐらゐになつたとき更に液化に要したると同量の麥芽粉を混じると三乃至五時間糖化する、E、甘藷、そのまゝで用ひる時はよく洗ひて不良皮を剥く、

内の御用命は

## 三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

債券、公債 面替、金融 多田井質店 平市大工町 電話五九一番

入院 應需

内科、小兒科 大森醫院 醫學士 大森勇 平市南町 電二五八番

別腹氣管支、關節、神經痛、肺炎、ロイマチス

## 生公華

濕布で各藥 山野邊藥局 治淋新藥 號七〇六

## お醤油は ヤマフル

醬油、味噌、たひら正宗、經節食料品

舎 山崎合名會社 電話 木部 二七〇番

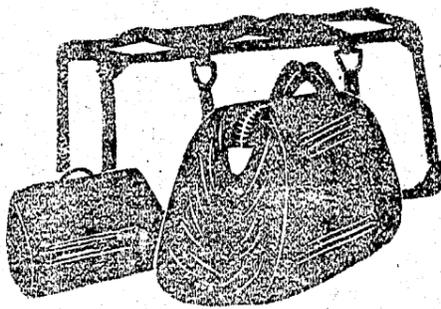
明治生命警械代理店 山崎與三郎

夏の洋服と帽子

夏の晴雨兼用傘

目町四市平 やるつ 〇四一電

## 類品洋とンバカ



眞砂屋 (前驛、市平、り通道新) (話電) 屋砂眞 (五六)

### 診療科目

- 一、齒科一般 保存科、補綴科、組織架工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
- 一、口腔外科
- 一、レントゲン科

## 中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野慈次 日本醫學士 鹽谷伍郎 主任 佐藤重義 電話五〇九番

平田町(三丁目裏川岸通) 明雲堂眼科醫院 電話六六九番 入院應需(自炊の便あり)

## 帝國海上保險株式會社

安田系統の帝國海上 代理店 關内正一 事務取扱者 阿部助次郎 平市三丁目 電話一六番

病室増築、手術室完備 産科 醫學博士 婦人科 五十嵐雄二 平市新川町 電話三六九番

國民精神總動員 日本國民必見の...

## 寫真週報

1部10セン お取次致して居ります 西村屋藥局

高橋屋 眞砂屋 高橋屋 眞砂屋

高橋屋 眞砂屋 高橋屋 眞砂屋

高橋屋 眞砂屋 高橋屋 眞砂屋

## 根本婦人科醫院

根本莊次郎 根本貞雄 (入院隨時) 電話三四番